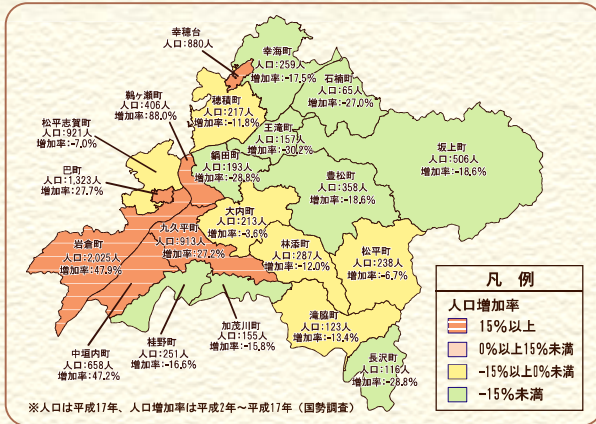


松平地域のデータ

町別人口及び人口増加率

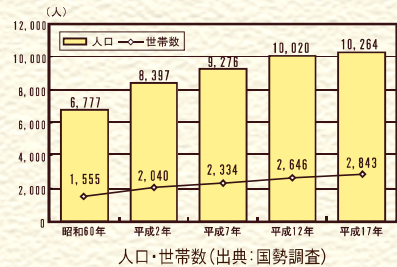
町別の人口を見ると、人口増加が見られる地域は、団地整備などが進んでいる西南部に集中しており、山間地域において、深刻な人口減少が見られる。



※人口は平成17年、人口増加率は平成2年～平成17年(国勢調査)

人口・世帯数の推移

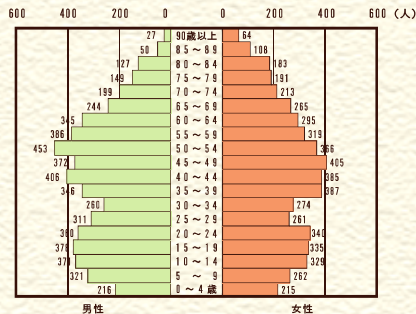
人口は、戦後、6,000人から7,000人程度で推移してきたが、昭和60年頃から、松平団地や九久平団地などの団地が整備されたことにより、地区全体の人口は増加した。平成12年以降は微増しており、平成17年国勢調査では、人口10,264人、2,843世帯である。なお、平成22年1月1日現在の住民基本台帳によれば、人口10,518人、3,198世帯となっている。



人口・世帯数(出典:国勢調査)

年代別人口

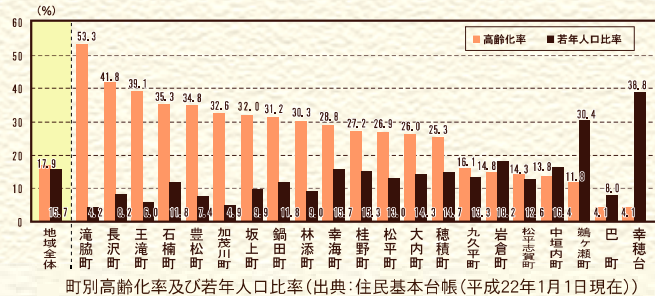
年代別の人口を見ると、20代後半～30代前半の子育て世代と10歳未満の子どもの人口が男女共に少なくなっている。



年代別人口(出典:住民基本台帳(平成22年1月1日現在))

高齢化率・若年人口比率

地域全体では、高齢者人口(65歳以上)が17.9%、若年人口(15歳未満)が15.7%である。町別に見ると、高齢化率が30%を超える町が概ね半数にのぼるなど、地域差が大きく、特に山間部に少子高齢化の深刻な町が集中している。



町別高齢化率及び若年人口比率(出典:住民基本台帳(平成22年1月1日現在))

松平地域まちづくり構想

～歴史とみどり 元気あふれる 松平～

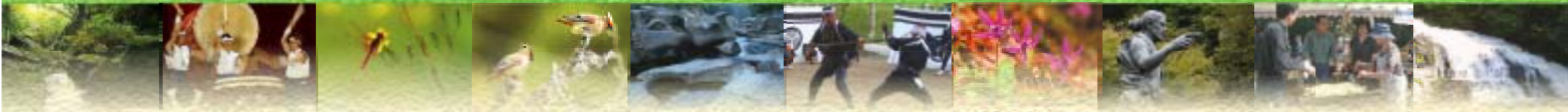
概要版



平成22年3月

松平地域会議
松平地域まちづくり対策協議会





背景

■松平地域は、徳川家発祥の地—松平郷、王滝溪谷などの歴史と自然に恵まれた地域であり、これらの豊かな地域資源を誇りとし、地域の主体的な活動によるまちづくりが進められてきました。一方、巴川周辺の市街地エリアと、巴川以東にのびる丘陵地及び山間部に属する地域に二分され、巴川以東の少子高齢化、過疎化の進展が地域の大きな課題となっています。

■また、平成20年に実施した「松平地域のまちづくりを考えるアンケート調査」では、「病院、診療所等の医療機関が不足」、「バス等の公共交通機関を充実することが不足」、「通学路の安全確保等に関する取組みが不足」が課題・問題点の上位3位になっています。

■現在計画されている豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴い、松平地域でも、交通量の増加など住民生活に影響があることが予想されており、道路整備や公共交通の充実などが想定されています。

■そこで、これまでの背景や当該造成事業に伴う効果や課題などを踏まえた上で、地域の主体的な協議により、「松平地域まちづくり構想」を策定し、地域の活性化やまちづくりを行政との共働により、住民が主体となって推進していきます。

良いところ

- 豊かな自然資源（王滝溪谷、六所山等）
- 地域が誇れる歴史資源（松平郷等）
- 伝統芸能の伝承（棒の手、手筒花火、和太鼓等）
- 活発な地域活動、地域のまとまり
- 交通利便性の良さ（豊田松平IC等）



悪いところ

- 狭くて危険な道
- 少子高齢化・山間部の過疎化
- 公共交通の便の悪さ
- 公共施設が未整備
- 飲食店など商業施設の不足
- 過疎地域におけるお役など地域活動の負担の増大
- 里山の手入れ不足や荒廃農地の増加
- 地域間の交流や、子どもや若者との交流の不足



豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業のあらまし

事業の目的 本事業は、愛知県の基幹産業として極めて重要な役割を担う自動車産業の研究開発施設用地を造成することにより、モノづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積を促進し、本県の産業振興と地域の活性化につなげようとするものです。

事業区域面積等

位置 豊田市蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町
岡崎市富尾町、保久町、外山町

面積 約660ha（平成21年10月現在）
〔改変区域 約270ha〕
〔非改変区域 約390ha〕



凡例

- 研究開発施設用地
- 道路用地
- 造成緑地
- 残置森林等
- トンネル
- ≡ 橋梁

東側 テスココース及びその付帯設備

西側 研究開発棟・実験棟・オフィス・テストコース及びその付帯設備・駐車場・厚生施設・自家発電設備・汚水処理施設

事業主体 愛知県企業庁 **立地企業** トヨタ自動車株式会社

人員計画 将来的に約4,000人

事業スケジュール（予定）

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
愛知県企業庁	環境影響評価手続	←				→				
	開発手続				←					
	造成工事						→			
自動車	施設建設工事								→	
	施設供用									→

（出展「地域のさらなる発展をめざして 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業」愛知県企業庁（2009年））

◆松平地域の将来像◆

歴史とみどり 元気あふれる 松平

知ってるよ！
あの子もこの子もあの人も
愛があふれる松平



みんなの目標 1 【コミュニティ】

- 方針 1
地域の声かけ・交流の拡大～
～知ってるよ！あの子もこの子もあの人も～
- 方針 2
防犯・見守り活動の拡充
～かけあう声で地域を守る～
- 方針 3
過疎対策と定住の促進
～住んでてよかった松平～

<取組み例>

- ①「あいさつし隊」によるあいさつ運動を実践する
- ②防犯リーダーを養成し、防犯活動を拡充する
- ③地域の将来を地域で話し合う機会を設ける

みんなの目標 3 【健康づくり】

**歩いて健康
松平**

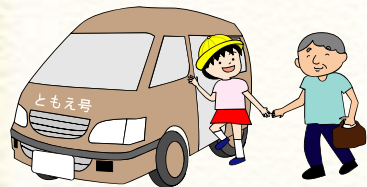


- 方針 1
健康講座・イベントの充実
～みんなで楽しむ健康づくり～
- 方針 2
ウォーキング仲間の拡大
～歩いて広げる健康の輪～
- 方針 3
身近なスポーツ施設の活用
～身近な施設で健康づくり～

<取組み例>

- ①健康サポーター組織を立ち上げ、健康づくりを支援する
- ②ウォーキング仲間を拡大し、みんなで健康づくりを楽しむ
- ③身近な施設で健康づくりを推進する

**安全・安心
ぐるり一周松平**



みんなの目標 2 【安全・安心】

- 方針 1
生活交通の充実
～みんなで運営「ともえ号」～
- 方針 2
道路・歩道・河川環境の整備
～安全に歩ける道づくり～
- 方針 3
防災活動の充実
～備えて安心松平～

<取組み例>

- ①ともえ号をPRし、地域で支える意識を高める
- ②通学路の支障木を住民の力で伐採する
- ③隣近所の声かけなど、災害時の役割分担しておく

みんなの目標 4 【地域の魅力づくり】

**歴史と里山
学び楽しむ松平**



- 方針 1
歴史・文化の継承
～知ることから生まれる地域の誇り～
- 方針 2
里山環境の保全
～守り楽しむ身近な自然～
- 方針 3
歴史・自然観光資源の活用
～育もう おもてなしの心～

<取組み例>

- ①歴史・文化を学び、子どもたちに伝える
- ②里山など身近な自然を守る体制づくりと活動を実施する
- ③四季折々の観光イベントを充実する

取組み一覧

1 知ってるよー！あの子もこの子もあの人も
愛があふれる松平

2 安全・安心
ぐるり一周松平

取組み	取組み内容	実施主体
1-1 地域の声かけ・交流の拡大	声かけ運動	「あいさつ隊」によるあいさつ運動の展開、スローガンを掲げ、あいさつの啓発 住民 行政
	松平地域全体の一体感の創出	子どもたちが高齢者までが参加でき、地域全体で楽しめる祭り・イベントの開催 住民 行政
	農山村地域住民と団地住民の交流	農産物の販売、農地の貸与などを通じた農山村地域と住宅団地地域の交流促進 住民 行政
1-2 防犯・見守り活動の拡充	防犯活動の実施	自治区毎に防犯組織を立上げ、地区の巡回・見守り運動・啓発活動などを実施 住民 行政
	広域防犯組織の結成	防犯に関する知識を習得した防犯リーダーの養成、地区全体の防犯・巡回活動の実施 住民 行政
1-3 過疎対策と定住の促進	将来への意識の共有と受入れ環境の醸成	自分たちの集落の将来を話し合う機会の創出、定住促進などについての意識の共有化 住民 行政
	過疎対策	人口減少地域における住宅の確保、小学校の小規模特認校制度の活用 住民 行政
	地元受入れ体制の整備	空き家情報を共有し、個人ではなく、集落で貸す体制等を整える(空き家情報バンク制度の活用) 住民 行政
2-1 生活交通の充実	ともえ号のPR・利用促進	ともえ号のPR、デマンド方式の利用方法の周知 住民 行政
	ともえ号の充実・運営支援強化	NPOによるともえ号の運営の検討、ともえ号の運行ルートの改善や台数拡大へ向けた検討 住民 行政
	スクールバスの運行検討	スクールバスの実現に向けての検討・事業要望 住民 行政
2-2 道路・歩道・河川環境の整備	通学路の支障木の伐採	住民・行政の共働による支障木の伐採の推進 住民 行政
	生活道路整備	道路整備の優先順位などの検討、道路整備の推進 住民 行政
	幹線道路整備	道路幅幅に向けた合意形成・用地確保、道路整備 住民 行政
2-3 防災活動の充実	防災意識の啓発	危険箇所マップの作成など身近な危険箇所の周知、防災意識や緊急時の対応に関する啓発 住民 行政
	防災対策・活動の実施	隣近所への目配りや声かけなど災害時の役割分担、自主防災会同士の連絡体制・情報交換の促進 住民 行政
	多目的地区防災公園の整備	全天候型の防災広場(屋根つき・多目的)の新設 住民 行政

3 歩いて健康松平

4 歴史と里山 学び楽しむ松平

取組み	取組み内容	実施主体
3-1 健康講座・イベントの充実	健康サポーター組織の充実	松平地域の医療従事者による健康サポーター組織の立上げ、健康講座・講演会の実施および支援、健康づくり啓発 住民 行政
	ヘルスサポートリーダーの育成	市のヘルスサポートリーダー養成講座への参加呼びかけ、健康づくり活動の推進 住民 行政
	地域主体の健康づくりの促進	地域の健康講座や講演会、イベントなどの実施や講師の派遣、健康サミットの誘致の検討 住民 行政
3-2 ウォーキング仲間の拡大	地域全体でのウォーキング仲間の拡大	地域全体でのウォーキングによる健康づくりの盛り上げ 住民 行政
	ウォーキングコースの整備・支援	ウォーキングコースの選定、コース情報の充実・PR、案内看板の設置等コースの整備 住民 行政
	ウォーキング健康イベントの開催	地域イベントにあわせてウォーキング大会の開催 住民 行政
3-3 身近なスポーツ施設の活用	地区体育館の整備	体育館の新設、地域の健康づくり拠点として体育館の有効活用、スポーツ教室の開催・指導 住民 行政
	総合型地域スポーツクラブの設立	地域のスポーツの普及を目指した拠点組織づくり 住民 行政
	多目的地区防災公園の活用	テニス・ゲートボールなどでの有効利用、施設管理 住民 行政
4-1 歴史・文化の継承	松平発見!! 企画実施	子どもたちが地域を知る機会・新規住民が地域の歴史や文化を知る機会を創出するイベントの開催 住民 行政
	地域の歴史文化の拠点づくり	松平歴史ミュージアムの建設など地域の歴史文化拠点の整備、地域主体の運営 住民 行政
	伝統芸能の伝承	伝統芸能(和太鼓・棒の手等)の伝承、担い手の育成、文化・伝統芸能の練習施設の整備 住民 行政
4-2 里山環境の保全	里山や川に親しむ機会の創出	近くの裏山を子どもたちの自然学習の場として活用、ハイキングなどのイベントの開催 住民 行政
	ホテルの育成を通じた自然学習	ホテルの育成・鑑賞会の開催 住民 行政
	里山の整備	人工林の間伐の実施、里山の環境維持・整備、地域で里山を守る体制づくりの検討 住民 行政
4-3 歴史・自然観光資源の活用	松平氏遺跡を中心とした観光振興	国指定の文化財をもつ松平郷など地域の歴史的遺跡を中心とした観光振興・PRの推進 住民 行政
	観光地・観光イベントの充実	巴川の金魚花火祭り、王滝渓谷のみみじ祭り、天下祭など、地域の四季折々のイベントの充実・PR 住民 行政
	観光コースづくり	地元の誇れる場所を周る散策ルートやピーターを増やす季節毎のルートづくりの検討 住民 行政